

ハイパーロードシステム (重荷重・重交通対応インターロッキングブロック)

コンテナヤードや鉄道貨物ヤードなど、重荷重エリアにも使えるインターロッキングブロック。割れや不陸を抑制し、補修頻度の低減につながります。

●特長

重荷重・重交通対応インターロッキングブロックについて

メンテナンス性に優れているインターロッキングブロックは、従来から多く採用されています。しかし、重荷重の往来が激しいコンテナヤードや交通量の多いトラックターミナルなどでは、経年変化によりブロックのガタつきや割れが発生する懸念があることから、利用が避けられてきました。

ブロックの移動や噛み合せによるガタつきを抑える波型形状を採用した、厚さ100mmのインターロッキングブロックに、砂の細粒化を抑制した特殊敷砂・目地砂を組み合わせることによって、重荷重、重交通舗装に十分対応した舗装が可能となりました。

コンテナヤードなどでは、わだち掘れに強く、表面強度があるコンクリートブロック舗装の性能が発揮されれば長期にわたるメンテナンス回数や維持管理費用を低減することができます。

ブロックの抜き替えによるメンテナンスが行える為、即日交通開放ができます。

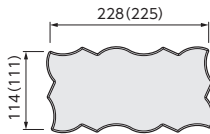


基本形状図

寸法・重量



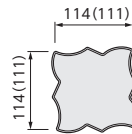
■平面図



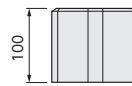
■側面図



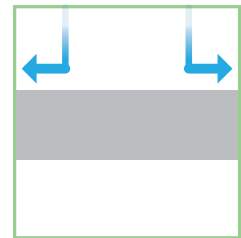
■平面図



■側面図



非透水

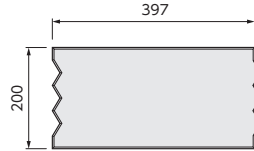


水を通さず、表面排水によって路面の滞水を防止します。

端部拘束ブロック



■平面図



■側面図



参考重量:36.5kg

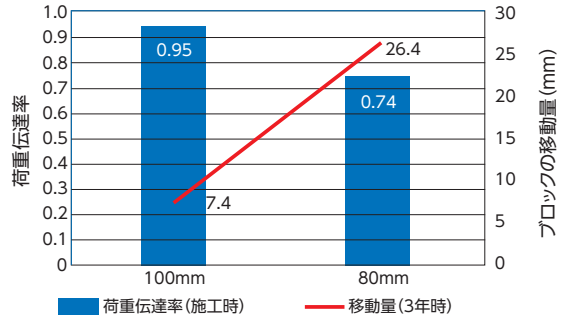
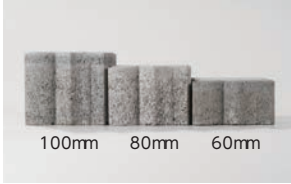
重交通・重荷重用舗装止めコンクリートブロック。

長辺はILB舗装や他舗装との取り付けを考慮してストレート形状とし、短辺は噛み合わせ効果のある波形の形状を有しています。

ILB舗装や他舗装と取り付ける場合は、長辺方向の両側に成型目地材(フジシート)を貼付けることによって、雨水等の侵入や端部拘束ブロックの欠けを防ぐことができます。

従来の80mmILBに比べて高性能

これまでの80mmILBと荷重分散性能を比較すると、荷重伝達率は約1.3倍という高い数値を示しています。さらにブロックの移動量は1/3以下。このため重交通・重荷重用箇所においても、平坦性を保つことが可能です。



※荷重伝達率は、ブロック系舗装の噛み合わせ効果を示す指標です。

重交通・重荷重エリアへのさらなる共用を

以下のような環境に100mmILBを敷設することで、重交通・重荷重エリアの景観や機能性の向上が見込めます。

- ・コンテナヤードや鉄道貨物ヤード・バス停、バスターミナル、港湾区域の道路、高速道路の料金所
- ・大型車専用駐車場、流通施設周辺道路、トラック用モータープール
- ・大型車の交通量が多くなる普通道路のN4(舗装計画交通量250台以上/日・方向)以上の車道



北海道庁前の横断歩道



南港コンテナヤード
(トランスファークレーン走行箇所)

ILBと同じ目地砂と敷砂で施工するため、工期を短縮でき即時交通開放も可能です。



ハイパーロードシステム関連製品

ブロックサンド



天然砂や人工砂などにバインダーとしてストレートアスファルトと特殊添加剤をプラントで混合した敷砂です。ブロックサンドは骨材同士のすり減りによる細粒化に対する抵抗性に優れているので、浸透水による砂粒子の支持力低下や流出を生じにくくします。敷砂に使うことで、長期に渡り良好な路面性状を維持します。

イオシートHS



車両の走行などによって生じやすい不織布の損傷を低減するため、ポリオレフィンのフィルムを縦横に積層して作られた車道用の透水シートです。イオシートHSは高い分離機能と平坦性維持効果を発揮します。敷砂と路盤の間に使用することで、長期に渡り良好な路面性状を維持出来ます。

ペーブドレーン



ブロック系舗装の敷砂層に滞留した浸透水に流路を設けて排水処理をする不織布巻き導水管です。新たに専用の排水施設を設置せず、既設の側溝をそのまま利用して排水処理をすることが出来ます。